



道路(東)側全景 | シンプルな箱型を重層した外観で、通りに面した外壁には窓を設けない。しかし、閉じた外観とは異なる内部空間は空とつながり自然の光と風を楽しみながら過ごせる住まいになっている。



俯瞰全景 | 2階と3階に上空がオープンなテラスを、2階LDKと階段上部にトップライトを設けて住まいに自然の光を取り込む。

**シンプルな箱型を重層した外観。その中にいるいるな光と風と緑を感じる家**

1階は公私を切り替える変換装置、2階はゆったりとみんなが集い語らう場、3階は夫婦のプライベート空間といった明快な機能を持った空間を重層化したシンプルな断面構成と無駄な廊下や間仕切壁を一切設けず、1階は水廻り動線をコンパクトにする田の字型プランを採用し、床面積が30坪弱と決して広くはありませんが、収納スペースも充実した数字以上の広さを感じる住まいです。

普通に3階建ての家を計画すると、高度斜線や道路斜線の影響により3階部分がノコギリの歯のようにカットされ、天井が斜めになり圧迫感のある住空間になります。かといって1階部分を完全に地下化してしまうと掘削工事の費用が余分に掛かってしまい、建築コストをアップさせてしまいます。これらの問題をクリアするために前面道路から外壁面の後退の仕と2種類の斜線規制の交わり方を工夫しながら建物の配置を検討し、建物全体を地盤面より13cm埋めることにしました。建物全体を13cm埋めることで、3階居室部分の床面積が大きくとれ、外観も時間の経過とともに陳腐化しないスタイリッシュなデザインを可能にします。

木造3階建ての場合、建築基準法上構造計算が必須です。弊社は以前在籍していた設計事務所時代から15年以上お世話になり、構造デザイン方にも長けた構造設計家とチームを組んで、石井ご夫妻に安心して暮らしていただける住まいをご提案します。

**ご要望に対する質疑回答**

- ①全階ペアガラスを採用（見積りに反映済み）
- ②熊本県八代産い草を原料としたエコクロスを採用(カタログ同封)
- ③新築時の土壌処理の方法としては、基本的に薬剤処理をせずに物理的処理（防湿シート・ベタ基礎・基礎バッキング工法・外壁通気工法）で対応します。また、木部の防腐・防蟻措置は、耐腐朽性・耐蟻性のある樹種（ヒノキ・ヒバなど）の心材あるいは心持材を選ぶことで対応します。本案件のように床下のない高基礎は蟻害を防ぐ一助になります。(カタログ同封)
- ④外壁に通気層を設け、アイシネンを採用し調湿(カタログ同封)
- ⑤SE構法と同様に「構造計算」「集材材(一部)」「接合金物」の採用で構造の強さを実現します。そして、デザイン力にも優れた構造設計家とチームを組んで、生活空間を最大限に生かせる方法を選択し、ご提案します。  
【注意】弊社は頂いた設計監理料の中から構造設計料を抽出しますが、SE構法は構造設計料を工事費に加算しています。地震対策として住宅金融支援機構の構造技術基準である耐震等級2を想定。等級3では耐力壁の増加とコストアップをします。  
⑥右記2をご覧ください。
- ⑦外壁は通気層を設けガルバリウム鋼板を貼り、屋根はプールの防水にも使用されるFRP(硝子繊維強化プラスチック)防水を採用  
⑧本間建設株式会社が直接施工します。  
⑨お支払いの時期は「工事契約時」「上棟時」「引渡し時」の3回で、目安として工事金額の1/3ずつお支払いいただきます。

**1) 透ける・抜ける・兼ねるを意識しながら設計**

狭小住宅の場合、透ける・抜ける・兼ねるを意識しながら設計を進めています。

透けるとは、ガラスなど透過性のある材料を使って向こう側の様子がわかるようにして視線が壁で行き止まることなく、向こう側を感じさせることで、小さい空間にも広がりを生み出します。例えば、2階LDKとテラスや3階主寝室・書斎とテラスのような関係をつくり、サッシで屋内外を分けつつも、室内外壁の色を同色にすることで繋がりが生まれ、広がりを感じることができます。

抜けるとは、視線が通ることで、閉塞感が弱まり開放感が高まります。例えば、動線の先を意識させビューポイントとなる緑や大空を感じるトップライト、3階レベルで開口部とプライベートテラスを設け、三軒茶屋周辺の眺望を楽しめるようにしました。

兼ねるとは、二つ以上の役割を持たせることで、無駄がなくなりスッキリとした室内環境が可能となります。例えば、2階LDKや3階書斎に設けた収納スペース付ベンチ、廊下のような動線としての単一機能しか持たない空間をなくすなど。

【補足】本案件は平成21年9月24日に世田谷区役所へ行き、法的条件を建築審査課の酒井勇治氏に確認して、計画しています。

**2) 光が溢れ、風を感じ、緑を楽しむ生活空間**

密接した隣家からの視線を遮るために窓をほとんどなくし、閉じた外壁にしますが、2階部分を北側ヘスライドさせてきたオープンテラスの上空から自然の光を取り込みます。道路斜線を交わすことで生じた建物東側の2階と3階のずれた部分に長さ6.0m、幅0.8mのトップライトを設けました。最上には自然の光を取り入れるために長さ2.7m、幅0.8mのトップライトを階段上部に設けました。結果、2階のオープンテラスとトップライトは、照明要らずの明るく家族が集い語らう場をつくり、南側の壁に沿って配置されたストリップ階段上部から落ちてくる自然の光は、1階玄関ホールまで降り注がれて、建物全体を光が溢れる住空間にしてくれます。

密集地の場合、風通しを良くするために建物内水平方向のみに風の通り道をつくるのではなく、温度差や吹抜空間など垂直方向を利用した風の通り道もデザインしています。

建て込んだ住宅地の中にあってもできるだけ閉塞感を感じないように視線が抜ける所をつくり、その部分をより意識するように光と緑を設けました。観葉植物などの緑を置くことで、ちょっと息付けられるスペースになることもイメージしています。

例えば、玄関アプローチ空間にある樹木、2階キッチン越しに見えるオープンテラス内の観葉植物、3階夫婦のプライベート空間に面して設けたプライベートテラス内の観葉植物など。

**3) ゆるやかに広がりを感じるリビングダイニング**

ご家族が集まる2階リビングダイニングをできるだけ広々と感じられるようにつくりたいと考えました。そのために、北側に上空をオープンにしたウッドデッキのテラスを設け、そこに明るい陽だまりを感じられるように考えました。

加えて階段吹抜やトップライトなどプライバシーは確保しながら視線が抜ける仕掛けを用意して、開放感とやわらかい光にまつまられた生活をより豊かにする空間をデザインしています。

テラスに面した開口部を天井いっぱいまで開いた窓にすることで、室内側から見える風景とウッドデッキへの連続感が相まってリビングダイニングは実床面積以上の広がりを得られます。

建築主様のご趣味にも寄りますが、第一案として内装仕上材を茶系のグラデーショナルにごすることで、家族をやさしくつつみ、くつろげる生活空間をご提案します。

**4) ドラマを提供するアプローチ空間**

密集地ではありますが、演出効果として敷地に入ってから1階玄関に到達するまでのドラマを来訪者に提供するために奥行きと光と緑を生かしたアプローチ空間もつくりました。


## 住まいづくりで考えたこと

床面積を最大限有効に使うために建築基準法を逆手にとり、屋外的用途となるテラスをピロティ(駐車場)上部に重ねることで、余分な建築面積を減らすことができます。結果、室内用途として有効に使える床面積を増やすことができます。

### 1階 | 玄関アプローチ

門扉から玄関までのアプローチ空間は、その家が持つ顔であり、訪問者を迎える演出空間としても私は設計する上でとても大きな要素の一つとして位置づけています。自然の光や植栽の緑を取り入れ、間合いをとるための奥行き感を用いて演出します。

### 1階 | ピロティ(駐車場)

駐車場は雨を凌げるように屋根は設けますが、壁に囲われた形にしないことで、出し入れがしやすくなるメリットがあります。

### 2階 | キッチン

室内の開放感を損なわないためにガスコンロは外壁側に設け、対面式キッチンカウンターはシンクのみとします。キッチンカウンター4面に扉を設け、たっぷり収納スペースを確保し、カウンター背後にも全面壁面収納を用意します。  
※細かい使い勝手は奥様の家事行動パターンや体型も大きく影響してくるのでレイアウトはたたき台とお考え下さい。

### 2階 | テラス

室内からテラスまで壁が連続しているので屋内外問わず、フロア全体を一体に見立てた住空間が生まれます。

### 3階 | 主寝室・書斎

部屋を細かく仕切ってしまうどうしても閉塞感ができてしまうので3階部分についてははご夫婦だけのプライベート空間ならば主寝室と書斎は一体空間とし、必要ならば家具で仕切る方法をご提案します。もちろん間仕切り壁を設けることも可能です。

### 3階 | テラス

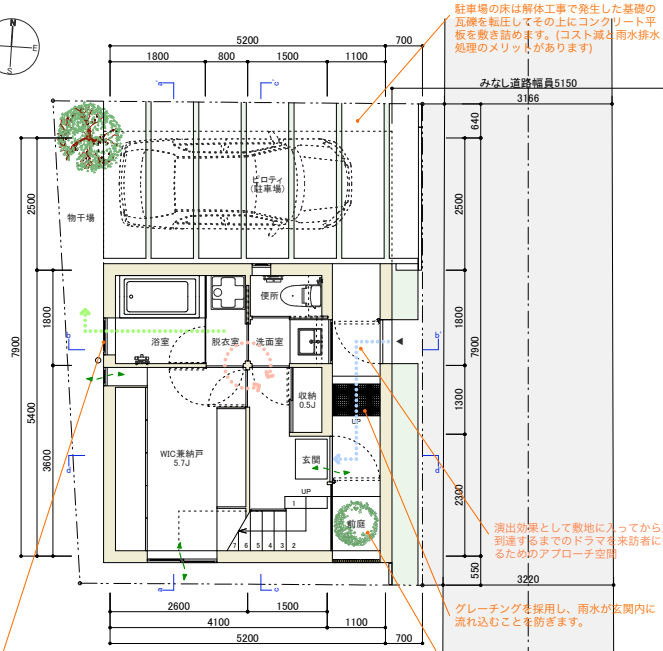
プライベートテラスからは三軒茶屋駅前になるキャロットタワーを望むことができ、かつ機能面でも主寝室の布団を干すことができます。  
※高齢になった時、主寝室の近く同フロアにテラスがあった方がよいのでは・・・



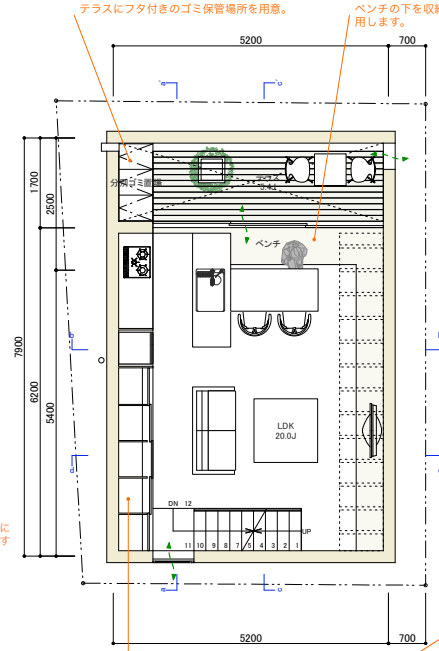
2階LDK・テラス | 室内からテラスまで壁が連続しているので一体感があり、2階フロア全体をLDKに見立てる。そして、上空をオープンにしたテラスとベンチ上部のトップライトから自然の光を呼び込む。



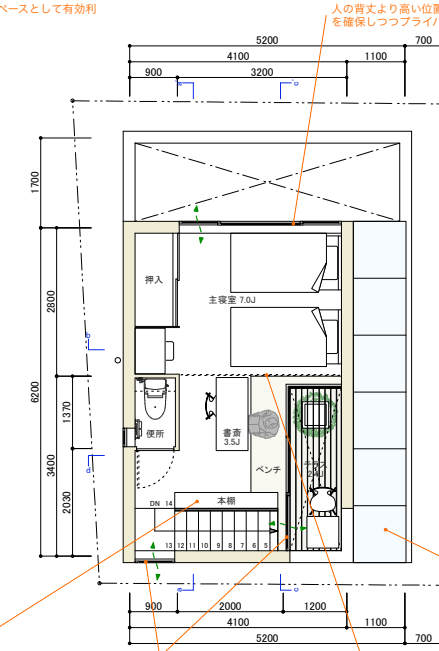
1階玄関・水廻り | 田の字型のプランを採用し、扉を隣接することでコンパクトな家事動線を実現。



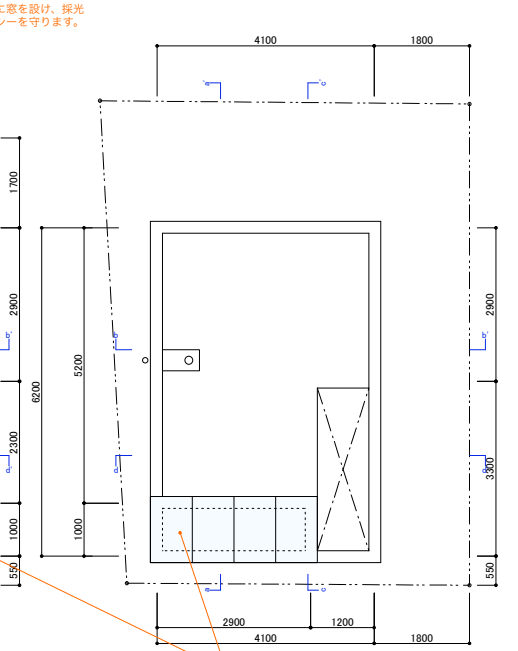
1階平面図



2階平面図



3階平面図



屋根伏図

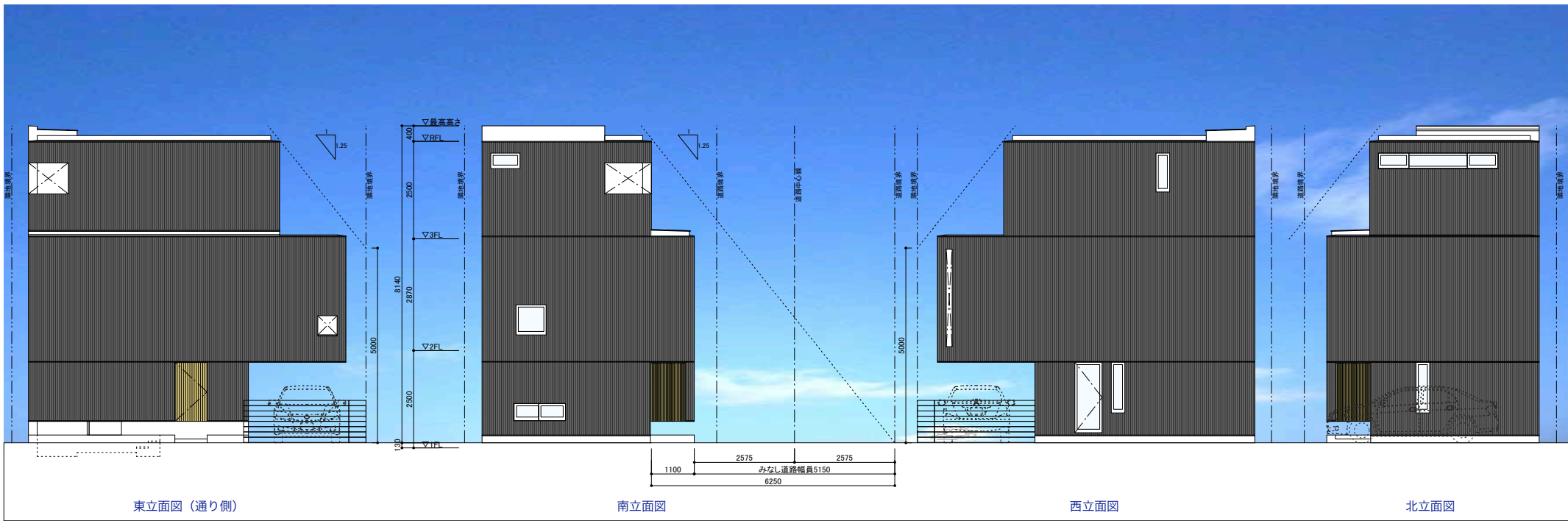


株式会社 五十嵐賢治建築設計事務所  
〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-25-9モナーク等々力カ304  
tel.03-3702-8557 fax.03-3702-8557  
一級建築士 第268408号五十嵐 賢治

東京都世田谷区 1 邸

scale	A3:1/100
drawn by	五十嵐
date	2009/10/20

title	各階平面図・パース
sheet number	2





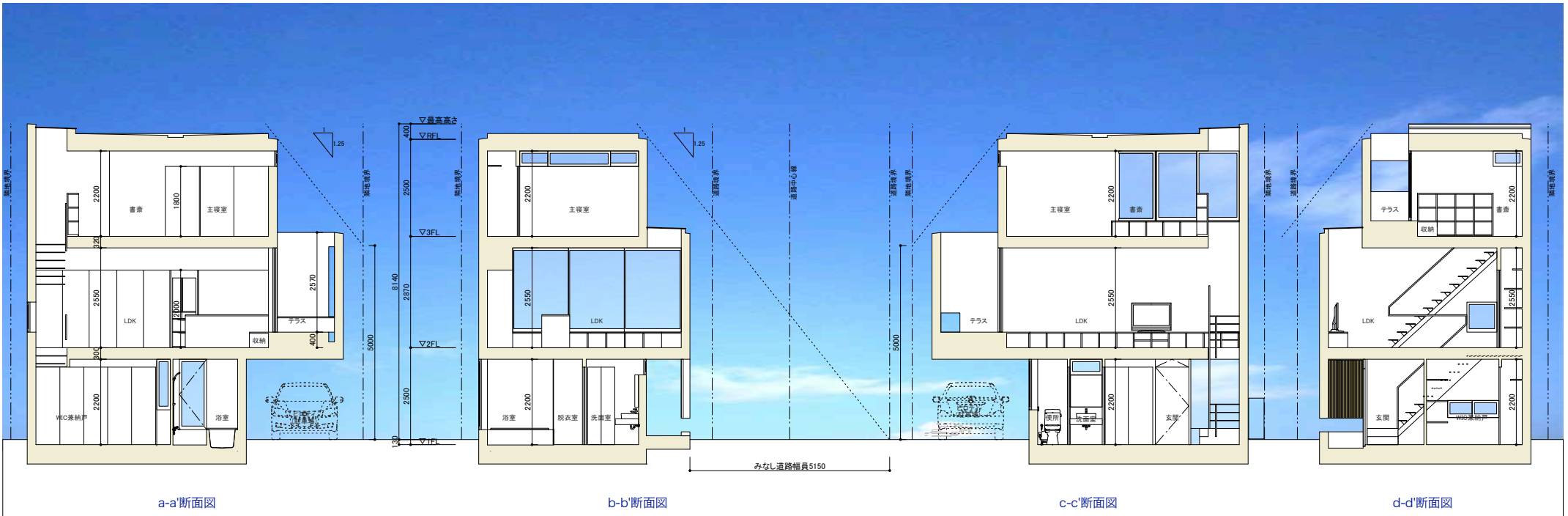
1階玄関 | 2階から玄関を見下ろす。階段正面の窓の外に樹木を植えて眺めを演出している。



2階LDK全景 | 階段とベンチ上部のトップライトは季節と時刻の移ろいを映す。右側の壁面は、全面壁面収納で調理家電も隠しておけるのでいつもスッキリと使える。



3階主寝室 | 周面から守られた室内を実感できる空間。右側にはプライベートテラス、正面北側には高窓を設けて自然の風を取り込む。



a-a'断面図

b-b'断面図

c-c'断面図

d-d'断面図



Kenji Igarashi and Associates

株式会社 五十嵐賢治建築設計事務所  
 〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-25-9モナーク等々力カ304  
 tel.03-3702-8557 fax.03-3702-8557  
 一級建築士 第268408号五十嵐 賢治

東京都世田谷区 1 邸

scale	A3:1/100
drawn by	五十嵐
date	2009/10/20

title	断面図・パース
sheet number	4